

女性のための漆の鞆

A2201127 松戸幸鶴妃

研究の概要(背景)

漆の可能性として、現在では食器以外にも様々な商品について考えられている。中には腕時計の文字盤や、ライターに漆塗りを施しているなど海外の有名ブランドが手がけ、ヨーロッパを中心として一定の評価が得られているものもある。同様に、これまで漆塗りのハンドバッグも漆器産地において制作されて来たが、なかなか大きな評価には至っていない。これは漆の質感を柔らかな鞆の表面に生かす事が難しい事も一つの要因として考えられる。現在販売されているものの多くは点描にて文様を表す印伝のような表現方法が多く、全体の質感を漆で伝えられてはいない。過去に有名な漆産地において伝承的な古典模様を手提げ型のハンドバッグに蒔絵で表現したものも作られたが必ずしも女性に受け入れられる優れたデザインではなかった。

女性の持つバッグは、強力なファッションアイテムの一つでもある。鞆一つで、女性の全体の印象が変わることも多くあり、鞆は服装や目的によって様々な形態や装飾が施されたものが販売されている。TPO (Time,Place,Occasion) によって使い分けるために、女性は鞆を1個ではなく複数個持つ事は以前では当たり前でもある。その中に、漆の鞆があってもおかしくないような、女性の服装やTPOに合う漆の鞆という存在について本研究では提案したい。

研究のねらい

女性は最低限のものを持って買い物などちょっとしたところへ出かけるときは、小さめのショルダーバッグを使ったり、まだ幼い子供を連れて出かけるときは荷物も増え両手が空いているほうがいいのでリュックを使ったりする。また、パーティの席等では、小さなバッグでもセンスの良い高級感が求められる。こういった様々なTPOで鞆を使い分ける女性のためのファッションアイテムとして漆の鞆の提案を行う。

制作工程

- | | |
|-----------------------|---------------------|
| 1. デザイン・技法の決定、原型・模型作り | 16. 下塗り |
| 2. 表面の凹凸を埋める | 17. 脱型、蓋部分と胴部分の切り離し |
| 3. 離型処理 | 18. 蓋止め部の加工 |
| 4. 布着せ | 19. 切断面の処理(錆) |
| 5. 布目揃え | 20. 下塗り研ぎ |
| 6. メスリ | 21. 中塗り |
| 7. メスリ研ぎ | 22. 上塗り |
| 8. メスリ | 23. 加飾 |
| 9. メスリ研ぎ | |
| 10. 二辺地付け | 17~19に使用する乾漆板 |
| 11. 二辺地研ぎ | を同時進行で制作する(4 |
| 12. 錆付け、錆研ぎ | ~7を3回)。 |
| 13. 捨て塗り | |
| 14. 水研ぎ | |
| 15. 追い錆、水研ぎ | |



乾漆板



原型



離型処理



布着せ



布目揃え



メスリ研ぎ



二辺地付け



二辺地研ぎ



錆付け

感想・考察

完成した靴を周囲の人に使ってもらい、使い心地や重さ、デザインについて調査できればよかった。一般的なソフトな靴と違い、本研究では伸縮・柔軟性のない漆のハードな靴を制作した。この靴が流行に敏感な女性にどのように思われるのか気になるところだ。もしも、やはりソフト感が重要視されるのであれば、漆を使ってできる限界のやわらかさや、硬くてもやわらかさを出す方法を追求する必要があると考える。

デザインの決定に至るまで大きな苦労があった。スケッチを重ね模型による検討を行ったが、形が凝りすぎて受け入れられないのではと思った。その結果、形は極めてシンプルなものとなった。模型を作って完成には至らないものもあったが、そこで考えたことが完成作品で活かせる部分もあった。これは卒業研究制作だけでなく、日常生活においても、考えたことが形にならなくとも無駄にはならず、違う場面で役に立つこともあるという考え方に繋がると思った。

今後、完成した靴を自身で使用し、デザインや使い心地をはじめ周囲からの印象や反応について身を持って確認するとともに、漆の新たな提案としても広く知らしめてみたい。